

第105回 GRIPSフォーラム

ネルソン・マンデラ記念講演：南アフリカ - 20年間の自由と将来のビジョン

Mohau Pheko 氏

駐日南アフリカ共和国大使

南アフリカでは1994年4月に、人種にかかわらずすべての住民が参加する同国初の民主的選挙が実施された。全面的な人種戦争の危機が回避され、ANC（アフリカ民族会議）が権力の座に就き、自由がもたらされた後の南アフリカ初の大統領にネルソン・マンデラが選出された。民主主義が確立され、独特の多様性を持つ人々が新しい国旗と国歌の下で1つになった。また、11もの言語が公用語として認められた。過去20年間にさまざまな分野で達成してきた数々の驚くべき業績に、政治的機敏さが加わって、南アフリカは国際的発言力を強め、多くの人々からその実力以上のものに挑む国家とみなされている。南アフリカが将来に対して明確なビジョンを持つことは、同国が重要な国際的プレイヤーかつパートナーであり続けるのに不可欠だろう。



●講演者略歴

- 1984 インディアナ大学経済・一般教養学学士
- 1987 ニューヨーク大学看護学士
- 1990 ニューヨーク医科大学公衆衛生学修士
- 1994 ニューヨーク大学専門大学院開発経済学修士
- 2000 ルイジアナ、ラサール大学国際関係論博士号
- 2010 国際関係・協力省入省
- 2010-2011 南アフリカ共和国駐カナダ高等弁務官
- 2012 駐日南アフリカ共和国大使

2015年1月26日(月) 16:40~18:10

会場——— 本学1階 想海樓ホール
参加費——— 無料（事前登録制）
言語——— 英語（日本語同時通訳あり）
参加登録——— gripsforum@grips.ac.jp



GRIPSフォーラムについて 政策研究大学院大学（GRIPS）は1997年の成立以来、政策研究に特化した唯一の大学院大学として様々な政策課題についての教育・研究を進めております。本フォーラムでは、GRIPSが持つ政策研究に関する広範なネットワークを活用し、各界のリーダー（政府関係者、行政官、産業界、研究者など）や本学関係者から、各種政策課題に関する貴重なお話を伺います。フォーラムは日英の同時通訳にて行い、学内外から広く聴講者を募集します。

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

本学へは、都営大江戸線六本木駅（徒歩5分）、東京メトロ日比谷線六本木駅（徒歩10分）、または東京メトロ千代田線乃木坂駅（徒歩6分）をご利用ください。

進行の妨げとなる行為はご遠慮ください。事務局の指示に従って頂けない場合には、退席いただくとともに、今後のフォーラム等への参加をお断りする場合があります。

GRIPS FORUM

105
th